

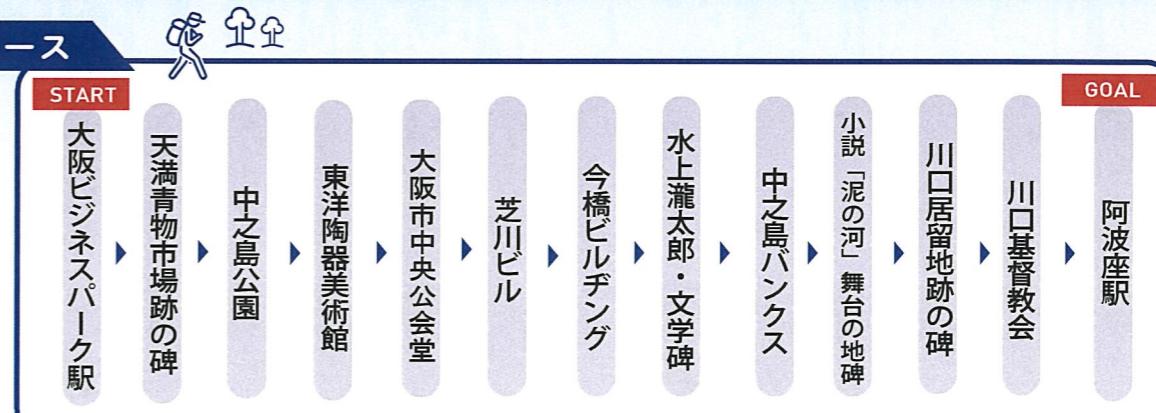
ぶらりウォーク



第7回

大阪市中央公会堂開館100周年記念
都会のオアシス中之島をめぐる

約9km

2018年
2/24
(土)

【コース説明】

大阪ビジネスパーク駅9号出口をスタートし、地上に出ると寝屋川の片町橋を渡りすぐ西へ左折すると小さな片町1丁目児童遊園があるので、ここから寝屋川沿いに歩く。寝屋川橋東詰交差点を北へ渡り、京阪線の下をくぐり、大川沿いへ出る。川崎橋を渡り、大川北岸を歩いて行くと、途中天満青物市場跡の碑がある。天神橋から中之島公園へ下りると芝生のきれいな中之島公園だ。バラ園を過ぎて難波橋をくぐると大阪市中央公会堂の見事な姿が目に入ってくる。公会堂の地下には無料の展示コーナーもあるので、見学すると良い。

梅檀木橋から三休橋筋に入ると美しい近代建築も多く、楽しめる。伏見町の交差点で西へ曲がってすぐ芝川ビルがある。芝川ビルは、南米のイメージが強い建物で装飾にマヤ・インカのものを施している。館内は飲食ショップなどもある。御堂筋を越えると浪花最古の創業の和菓子店があるので、ここを北へ曲がる。すぐに大阪俱楽部、左に曲がると今橋ビルヂングがある。今橋ビルヂングは、以前消防署であったため赤く丸いランプが壁にある。

ここからは、土佐堀川を渡り、また中之島を歩く。フェスティバルタワーの南側の遊歩道を歩くと水上瀧太郎の「大阪の宿」文学碑がある。東京出身の作者が大阪にいた時の様子を小説にしたものだ。

遊歩道を下り、堂島川沿いの遊歩道へ移ると中之島バンクスがある。約400mの親水空間にショップなどが並ぶ。そのまま川沿いを歩き上船津橋から南へ行くと、宮本輝の小説「泥の河」舞台の地碑がある。橋のたもとの食堂の子と船宿の子の交流を描いた作品だ。そして最後は川口居留地跡へ。川口基督教教会などを巡り、ゴールの阿波座駅へと向かう。